

平成26年度 第一回総務委員会 議事録

日時、場所

2014年11月13日(木) 18:00~20:20 工業会事務所

出席者 (敬称略)

担当業務執行理: 佐藤 進 (シンコーエステック株)

委員長: 島田 真輔 (カネエム工業株)

副委員長: 林 秀昭 (株ハヤシ)

委員: 西村 哲也 (株ニシムラ)

オブザーバー参加: 百合川 壮 (株和歌山印刷所)

事務局: 中西 順也 (文責)

開催の挨拶: 佐藤 進 業務執行理事

議事

1. 平成26年度上期 事業報告、今後の予定について(事務局)
 - ・正副会長・委員長会議、理事会が中止になった経緯
 - ・忘年会、新年賀詞交歓会の決定経緯など
2. 平成26年度上期 収支決算報告について(事務局)
 - ・公益目的支出の結果と今後の見込み
 - ・継続3)HP等情報提供事業の上期収支結果の詳細など
活性化委員会関連の費用は継続3)に入れています。
3. 平成26年度上期 会員異動状況について(事務局)
 - ・会員数100社(正会員80社、準会員20社)毎年減少しています。
(会員が増えない理由は)
 - ・会員が同業者を勧誘してこなかったことが大きな原因ではないか(林)
 - ・しかし同業が同業(ライバル)を紹介しないのではないかと(西村)
 - ・正会員の定義(プレス製造業)を変えなければならないのでは(林)
 - ・個人会員を作ればどうか(年会費は安くして)(西村)
 - ・会費の分類(従業員数によるランク)が細かすぎる(全員)
 - ・正会員、賛助会員、特別会員の区別は必要ないのでは(林)
 - ・理事が別枠会費を払う方法もあるのでは(島田)
 - ※これらは定款から変えなければならないので、すぐは難しい
4. 活性化委員会の活動報告について(事務局)
 - ・委員会メンバーで活性化委員会へ参加されていない方へご説明

5. 平成 27 年度 委員会組織について
- ・平成 27 年度の委員会組織改編についての説明（事務局）
総務委員会、経営委員会の出席者が少なく活性化委員会との関係などから委員会組織の改編は必要（総務委員会と経営委員会をひとつにする案）
 - ・総務委員会と経営委員会は一つにしてもよいが、活性化委員会は独立して
いて意味がある。横断的に活動するのが活性化委員会（林）
 - ・次回の理事会でも決められないのではないかと、せめて理事会も 3 か月ごと
に開催すべきではないかと（林）
6. OSAKA-MONO.net のご紹介
- ・サイトのご紹介と登録のお願いを致しました。（事務局）
ご紹介したところ皆様に大変興味を持って頂きました。
 - ・電話番号がネットに出るのは少し嫌なのだが・・・（西村）
 - ・次回の活性化委員会でも参加者に紹介して欲しい（林）
7. 入会案内のパンフレットについての話し合い
- ・工業会の事業が乏しく活性化委員会で各事業を行ってからと思っ
ていましたが、同時進行で急いで進めたい（林）
 - ・文章を少なくして事業の写真を多く掲載する方が良い（佐藤）
 - ・進め方は活性化委員会ではなく、この総務委員会で進めるべき
メンバーを林秀昭、島田真輔、西村哲也で進めて理事会で承認を得たい（林）
 - ・何を訴えたいかのコンセプトが必要ではないかと（林）

（専門家の百合川様からのご意見・ご提案）

- ・この手のパンフレットは奇をてらう必要はないと思います。
民営ではないので派手なものは必要なく、社団法人として上品に
やっている事業をまとめる方がよい。
- ・ページ数は A 4 見開き（計 4 ページ）で良いと思います。
- ・入会手続き関連は裏表紙か又は別紙で挟むのが良いのでは
- ・会長のご挨拶と写真はあった方が良いと思います。
- ・原稿と写真を選んで頂ければ、正規に近いデザインを考えます。

（その他）

- ・大阪だけでなく他の府県でも入れるという文言を入れるべき
日金協下の全国組織を記載してもよい（西村）
- ・ヘッドコピーは必要、賀詞交歓会やリクレーションは掲載しない（林）

（今後の進め方）

- ・掲載する原稿と写真を事務局（中西）から提出する。（11 月末まで）
- ・12 月中にデザインを作成し手頂き、賀詞交歓会に間に合わせる。

以 上